

第2章 政策別の基本的方向とその取組み

望ましい環境像 人と自然が共生する環境のまち

政策1 気候変動の緩和と適応

基本的方向1
社会の低炭素化の推進

再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくり
環境や人にやさしい交通社会の形成
リニア時代を見据えた低炭素な地域づくり
未利用エネルギー等の利活用の推進

基本的方向2
エコな「ライフ&ワーク」
スタイルの推進

家庭における環境負荷低減活動の推進
事業活動における環境負荷低減活動の推進
学校・保育園における環境負荷低減活動の推進
地域活動における環境負荷低減活動の推進

基本的方向3
気候変動への適応

「気候変動への適応」に関する研究
環境情報の適切な提供

政策2 循環型社会の形成

基本的方向4
廃棄物の減量および適正処理と
地域環境美化の推進

リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）の推進
リサイクル（再生利用）の推進
ごみの適正処理の推進
不法投棄の根絶と環境美化の推進
処理施設の適正管理と整備への協力

政策3 自然環境・生活環境・生物多様性の保全

基本的方向5
緑と生物多様性の保全

身近な環境や里地里山の保全と整備
森林の整備による多面的な機能の向上とそれを支える体制づくり
森や里地里山の資源の利活用
人の営みと調和した環境・景観保全の推進（リニア時代を見据えて）
ユネスコエコパーク等の自然環境の保全および自然と共生する地域活動の推進

基本的方向6
生活環境の向上

大気汚染被害の把握と改善
河川・地下水質の維持向上
騒音・振動被害の把握と改善
悪臭被害の把握と改善
有害物質(放射性物質等)による汚染の把握と改善
住宅や土地の管理不全による生活環境の悪化の防止

環境学習の推進および環境人材の育成と活躍の場の創出

基本的方向7
環境学習の推進および
環境人材の育成と活躍の場の創出

子どもの環境学習を進める仕組みづくり
生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり
環境人材の育成と活躍できる環境づくり